

2026 年 8 月 7 日（金）第 21 回例会 【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会長 諏訪 昭浩 / 幹事 伊藤 弘幸 / 広報委員長（会報担当） 谷口 公啓

例会場 おりづるタワー5F「凜」（広島市中区大手町 1-2-1）

会 長 時 間 諏訪昭浩 会長

ロータリーは自己教育運動です。運営内規第 1 条の「広島新世代ロータリークラブの理念」を胸に刻み、日々の自己教育に励んで下さい。

8 月は国際ロータリーが定める「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。世界中で会員減少の流れが止まりません。

1996 年、日本のロータリークラブ会員数は約 13 万人でピークを迎えた後、毎年減少し、現在は約 8 万人です。世界全体で見ると、同じ年に 120 万人に達した後、ほぼ横ばいの状態が続いています。減ってはいないのですが、実は、退会者と同数程度の新入会があり、何とか補っているという状態です。世界では日本とアメリカでの会員減少が激しいようです。

会員増強には 2 つの面があって、ひとつは入会者数を増やすこと、もうひとつは退会者を減らすことです。

ロータリーは社会のコピーではありませんから、年齢、性別、国籍、社会的地位や名誉、学歴、すべて関係ありません。会員になる要件はただひとつ。「志」です。ロータリーという自己教育運動で自分を高め世の中を良くしていこうとする「志」さえあればいいのです。ですから、候補者には、「ま、むずかしいことはいいから、とにかくはいりなさい」ではなく、「ロータリーは自己教育運動ですよ...仲間同士の付き合いの中で養われた人に優しくする心を、職場や社会で発揮するのがロータリーの奉仕ですよ。あなたはロータリーで自己教育をする気持ちはありますか？」とはっきり尋ねなければなりません。このように、ロータリーが自分のためになるのだと伝える事が、実は入会者増加に繋がるのではないかと思います。それは、これこそが他の奉仕団体では絶対に言えないロータリーならではの魅力だからです。

一方、退会者を減らすためにはどうするか。国際ロータリーが行った世界中のクラブ退会者に対して行ったアンケートによると、入会后 1 年以内の退会の場合、その最も大きな理由の一つが、入会后にロータリーに関する十分な教育を受けなかったことだったそうです。つまり、仮に「ええけえはいりんさい」で入会された方に対しても、入会后にしっかりとロータリーの本質を伝え、志を持っていただくよう導かなければなりません。

このように、勧誘時にロータリーの本質をしっかりと伝える事、そして、入会后に、ロータリーに関する十分な教育を提供すること、これが当クラブの会員増強にとって最も有効な方法ではないかと思っています。

話は変わりますが、創立 2 年目の 2 ヶ月目に入りました。前回の例会で申し上げましたが、クラブの基本的な管理運営の仕組み作りは、当初の目論見通りに進まず、未だ難航しております。これについては、創立会長の責任をもって全力で対応いたしますので、数ヶ月で大幅に改善すると思っています。この体制作りの中で、会員の皆さんに関係のあることで大変気になっていることがあります。それは、委



員会活動です。

ロータリーは自己教育運動であって、その主たる場合は例会であるということは何度も申し上げているので、もう耳にタコだと思います。例会出席は非常に大切なのですが、毎週例会を行うほとんどのクラブと違って、当クラブは隔週例会ですから、他のクラブと比べて例会に割く時間は半分になります。それで、例会の外の時間が他クラブ以上に重要になってきます。それは何かというと、委員会活動です。

ロータリークラブの活動というのは、それぞれ役割を持つ委員会が活発に活動し成果を出すことで成立します。各委員会の役割は、年度が始まる前に、会長からのお願いという形で、また、クラブの細則でお伝えしてあります。委員長は委員会を招集してそれを委員に伝え、全員が委員会の役割を理解した上で、具体的な活動について必要なだけ委員会を開催して検討し委員会の計画を作ります。皆さんの委員会では委員会を頻繁に開催しているでしょうか。

クラブの運営内規に書いてありますが、委員会活動は全員参加が原則です。団体によって色々なやり方がありますが、ロータリークラブでは、委員の合意なく委員長がひとりで進めるやり方はあってはなりません。委員長がたたき台を作る事はあっても、何事も全員で相談し合意が形成されてからでないと前に進めてはなりません。

このような基本的な委員会運営の方法が、残念ながら当クラブではまだ定着していないような印象を持っています。

先日、委員会開催のお願いを委員長さんをお願いするメールを送りましたが、これを全員にお届けしたのは、委員会活動が非常に重要なのだということを是非理解していただきたいからです。もう今年の10月には次年度の準備が始まりますが、その頃までには、等クラブの委員会活動が活性化していることを強く望みます。

さて、ロータリーは自己教育運動である、という私なりの理解について、これまで機会がある毎にお伝えしてきましたが、そのような話を聞きたい方々がたくさんいらっしゃるようで、大変うれしく思っています。先日は宇部西ロータリークラブでこのお話をしてきました。これから、地区内では、防府ロータリークラブ、尾道東ロータリークラブ、三次中央ロータリークラブで、地区外では、渋谷ロータリークラブで、このお話が聞きたいということで、行って参ります。このような機会に他のクラブの方々とお会いするのは、ひとりのロータリアンである私個人の問題ではありますが、相手は、広島新世代ロータリークラブの諏訪というご認識でお会いになりますので、個人の問題とはいいいながら、当クラブが無関係ではありません。従って、どなたにお会いする場合でも、広島新世代ロータリークラブの名を汚さないよう、さらには、その名を知らしめることができるよう精一杯務めます。皆さんも、他クラブの方々と会われるときは、そのような姿勢でお願いいたします。

さて、前年度幹事の福本さんが、早くクラブの管理運営の仕組みを確立させて、会長の手を煩わせないような体制を作って、諏訪を野に放ちたい、とおっしゃいました。管理運営の仕組みがしっかりしないと、先程の委員会運営にしても、会長の発信力にしても、色んな事がうまくいかないことは確かです。これはよく言うことですが、会長は本来、実質的な管理運営に関わる役職ではないのです。他にクラブ会長ならではの重要な役割があるのです。残念ながら、これまでは管理運営にどっぷり関わり、会長ならではの機能を放棄する部分が発生し、非常にいらだたしい思いでした。目指す管理運営という屋台骨が構築できたら、私は野に放たれるということですが、この、野に放つというのはどういうことか、福本さんにお聞きしたところ、諏訪しか話せないロータリー談話を、日本各地で話させるということだそうです。

敷居が高くない、会員がみな自己教育に励みロータリーの本質を外さない、社会の価値観を持ち込まない、そんなクラブを目指して当クラブを作りました。そして、私の夢は、そのようなクラブを日本全国で増やすことですから、福本さんのおっしゃるように、私を野に放っていただけたら、大変うれしく思いま

す。今年度の後半には少しだけでも野を駆けめぐってみたいものだと思います。

では最後に、今一度繰り返します。ロータリークラブの活動は委員会活動の集合体です。頻繁に委員会を開催してください。まさか、今年度になって一度も委員会を開催していない委員会があるとは思いませんが、もしそうでしたら、早急に委員会を開催して下さい。

以上で会長時間を終わります。

幹 事 報 告 伊藤弘幸 幹事

- ・「ロータリーの友」8月号、ガバナー月信を受付のカウンターに置いてありますのでまだ手元をお持ちでない方は持ち帰りください。
- ・10月24日25日に宇部で開催されます地区大会の本登録の受付を、当クラブでまとめる作業に入っています。メール等でご案内をしております。ご記入がまだの方はお早めにご記入下さい。
- ・伊藤史保子会員が、ご家庭の事情により7月末日を以て退会されました。
- ・委員会報告、同好会報告がある場合は、事前に出来るだけ早い段階で例会運営担当者にお知らせ下さい。
- ・次回例会（8/20）、この例会場には17：30頃まで入室が出来ませんので、ご留意ください。

委 員 会 報 告

ロータリー情報（成長支援委員会 榎下 賢 副委員長）

国際ロータリーは毎月を特別月間に定め、ロータリアンは各月のテーマに関連する活動を強調し、参加するよう要請されています。先月7月は、「母子の健康月間」でした。

日本にいと実感がありませんが、世界の多くの国では、栄養失調や医療設備の不足などにより、主に低・中所得国で、毎日、およそ830人の女性と7,000人の新生児が命を落としています。この子どもたちを救い、出産で命を落とす母親がいなくなるよう、世界中のロータリークラブが奉仕活動を行っています。

たとえば、あるブラジルの貧困地帯。近くの私立病院の治療費は高すぎて払えない。治療費が安い公立病院は何十キロも離れている。こんな土地にあるロータリークラブと、日本の岐阜県中津川のロータリークラブがパートナーになり、ロータリー財団のグローバル補助金を利用したプロジェクトを実施し、多数の医療設備を寄付しました。このプロジェクトで、毎年200名以上の新生児が助かるようになりました。また、パプアニューギニアとオーストラリアでは、助産師会と連携し、「パプアニューギニア助産師リーダーシップ・バディ・プロジェクト」を立ち上げ、昨年4月現在で、パプアニューギニアの助産師52人と、オーストラリアの助産師31人がこのプログラムでスキルを高めました。世界保健機関（WHO）によると、世界の助産師数をわずか10%増やすだけで、年間最大130万人の命を救うことができるそうです。当クラブはまだ基礎固めのまっただ中ですが、2年目の今年度、世界に目を向けて「人に優しくする心」を方を放流できるような奉仕プロジェクトを実施したいものです。

以上で今月のロータリー情報を終わります。

出席報告

(管理運営委員会 川口 茂博 会員)

区 分	内 容
本日の出席（リアル／オンライン）	7名／5名
出席率（7月第1週）	100.0%
出席率（7月第3週）	95.2%

スマイル BOX

(管理運営委員会 川口 茂博 会員)

本日は0件でした。

プログラム

台北国際大会 参加報告（福本 博之 会員）

◇初めての国際大会参加報告

ロータリー国際大会とは

ロータリー国際大会では、世界から集まる行動人たちが、世界や地域が抱える課題への解決策について考え、持続可能な変化を生み出す活動の成果を祝います。仲間とのつながりを深め、視野を広げながら、一生の思い出と末長い友情をつくることができるでしょう。

国際大会でできること：

- ・分科会での活発な話し合いに参加する
- ・本会議に出席し、意欲を高める
- ・世界中から集まるチェンジメーカーたちとネットワークを築く
- ・新旧の友人と交流する
- ・「友愛の家」を訪れ、数々の展示を見て回る
- ・開催都市の魅力を堪能する
- ・ライブエンターテインメントと充実したアトラクションを楽しむ

出典： <https://convention.rotary.org/ja-jp/about>

台北国際大会概要

開催期間：2026年6月13日～17日

開催場所：中華民国・台北（台北ドーム、TaiNEX）

参加者数：140の国と地域から約38,089人が参加



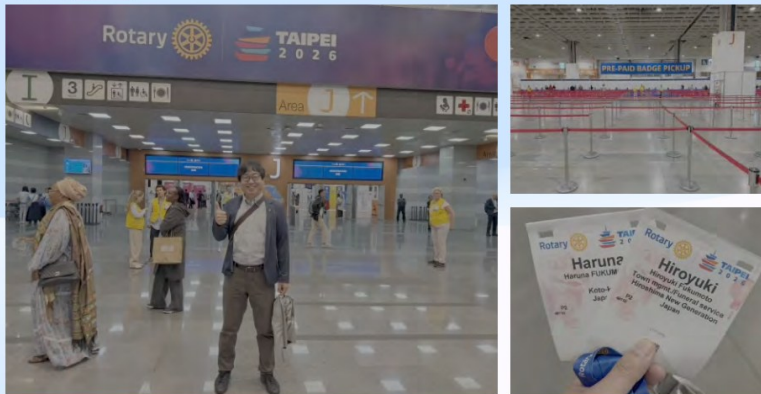
ロータリー色の台北市内 (6/12)



今回の台湾行きは福岡空港から飛びました。

台北に着くと、ロータリー歓迎ムードがすごかったです。空港だけかと思っていたら、要所要所にボランティアスタッフがいて道案内してくれました。ボッチ旅の私にはとても心強かったです。

受付 (6/12)



ホテルに荷物をおいた後すぐに TaiNEX にパスを受け取りに行きました。

開会前日だったのであまり人はいませんでした。用意された受付会場の広大さに驚きました。後で参加者数 37000 人と聞いて納得。ちなみに国際大会は家族・パートナーも一緒に参加できるので、大学3年生の娘といっしょに行きました。大会中は小さい子供連れの参加者もたくさん見かけました。

コミュニケーションツール

- ・ 仲良くなった人向けのお土産
- ・ バナーは全く使わなかった
- ・ 名刺は必須
- ・ デジタル名刺も用意しておこう



今回、出会った人へのプレゼントとしてピンバッジとバナーを用意していきました。ピンバッジは広島新世代 RC らしく折り鶴デザインのもの。それを福岡空港で買った小さいぬいぐるみに付けると見事にオリジナルグッズに変身しました。

ちなみにバナーは全く使いませんでした。クラブ同士の交流の場でもない限り、必要ないようです。

また名刺もたくさん用意していましたが、デジタル名刺で交換した人もいました。いろんなタイプのデジタル名刺があるので、用意しておかれると良いと思います。



6月13日、House of Friendship、友愛の家がオープンしました。オープン直後に訪れ、端から見て回って気づけば5時間くらいいました。各国のロータリアンが手掛ける社会課題解決のための活動や、同好会（登山とか、飛行機とか、トライアスロンとか、はやりのAIとか）活動の紹介などがありました。奥にはステージがあり、各種プレゼンテーションや演劇、演奏などが行われていました。

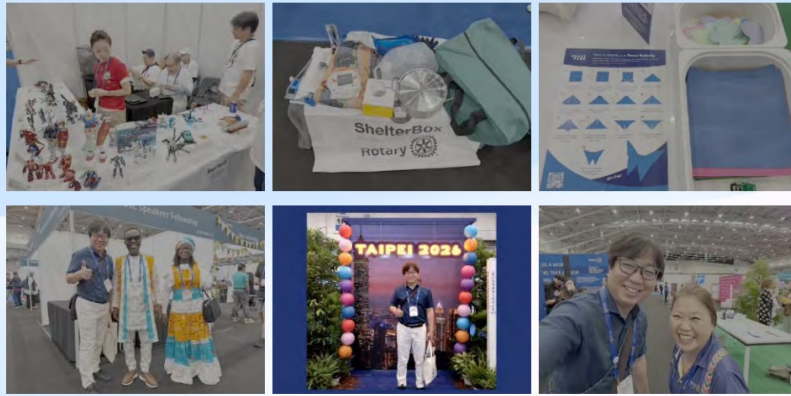


左上から、中にはキッチンカーが数台用意されていました。

台湾文化や歴史の紹介エリア、各国のロータリーグッズメーカーのブース、バルセロナ大会の紹介。

プラスチックでの水質汚染対策、台湾で問題になっているらしい捨てウサギ問題を取り上げたブース。

House of Friendship (友愛の家) 6/13～



日本からはプラモデル同好会が出展していました。

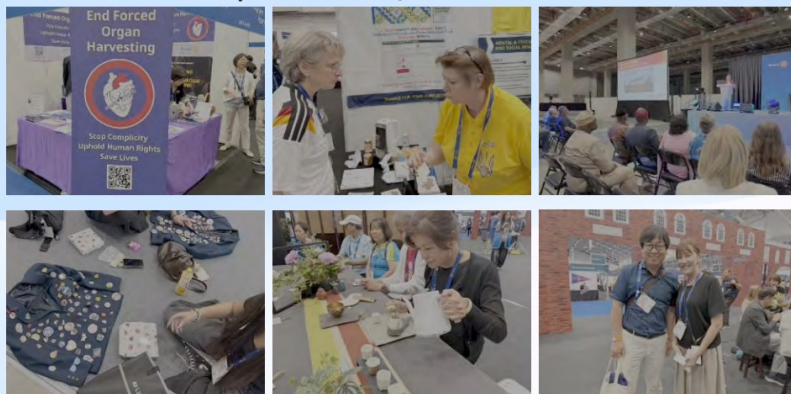
ShelterBox は、特に発展途上国の災害被災地に支援物資を詰め込んだパッケージを送り届ける支援をしています。

Peace Butterfly という、平和を祈る蝶の折り紙コーナーがありました。きっと折り鶴は難しいんだと思います。

西アフリカのベナン王国の方が全身ロータリーロゴの衣装で歩いていたので記念撮影してもらいました。

記念撮影スポットがあったので撮影していたら、この女性がすぐ後ろにいらっしやいまして、名札を見たら Brasil の「Elisa Toda」さんと書かれていたので日系人に違いないと思って話しかけました。サンパウロ在住の日系人で、2, 3年以内にルーツをたどるために来日予定とのこと。その時は連絡いただくようお願いしておきました。ブラジルにたくさん移民を送り出した広島にもきっと来てくれると思います。

House of Friendship (友愛の家) 6/13～



STOP 臓器売買をテーマにした e クラブのブース、戦時中のウクライナの窮状と支援を訴えるブース国際大会初心者向けの説明会があったので行ってみました。

床にピンバッジをたくさんつけたジャケットを広げている女子2人がいたので、声をかけてピンバッジをプレゼントしておきました。

台湾文化紹介エリアで台湾茶体験を勧められたので参加。そのブースにいらっしゃった Fei Fei さんは日本にも留学経験がある方で、LINE 交換しました。

ガバナーナイト (6/13)



13日の夜は2710地区のガバナーナイト。隣国開催ということでたくさんの参加者がいらっしゃいました。

たぶんほとんどの人がクラブでまとめてツアーを組んで参加されているようでした。ボッチ参加のわたしは西南 RC と広島空港 RC の方々と同席でした。海外だけでなく、普段会う機会のなかった国内の方々と交流できるのも国際大会の醍醐味だと思います。

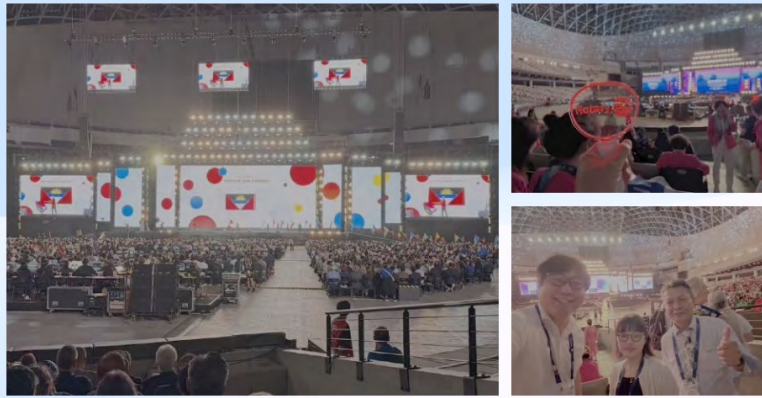
RI理事主催親善朝食会 (6/14)



日本の RI 理事主催の朝食会が、台湾を代表する高級ホテル「圓山大飯店」で開催されました。

7時からの朝食会なのにセキュリティチェックのために5時開場というおかしなスケジュール。ナニゴトかと思っていましたが、前日のガバナーナイトでどうやら台湾総統が来るらしいと聞いて納得。4時起きでタクシーで行ったのでスムーズに入れました。右下の方が、2024年に総統に就任された頼清徳（らいせいとく）さんです。頼さん、熊本地震では個人で100万円の寄付をされたそうです。

開会式（開会本会議）：平和の苗を植え、希望を育む（2回目）（6/14）



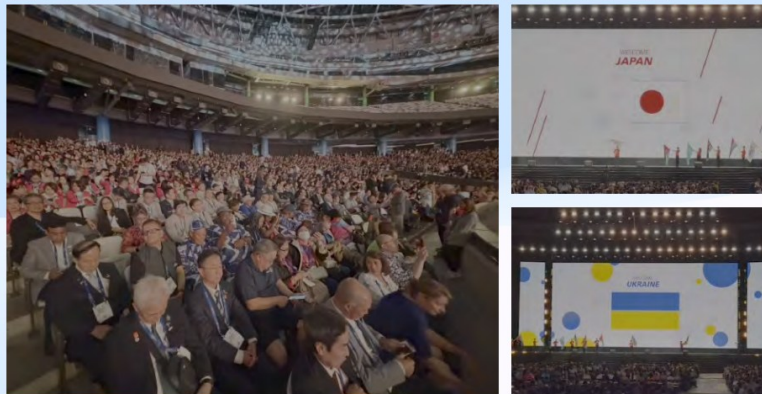
開会式は午前午後の2回に分けて開催されました。

私は15時からの午後の部。前日用意しておいたロータリーライトを片手に参加しました。

右下の写真は、竹原 RC の姉妹クラブだった羅東 RC の Jimmy さんです。わざわざ我々の席まで来てくれました。

Jimmy さんとは、国際大会終了後に羅東の案内もしていただきました。

開会式（開会本会議）：平和の苗を植え、希望を育む（2回目）（6/14）

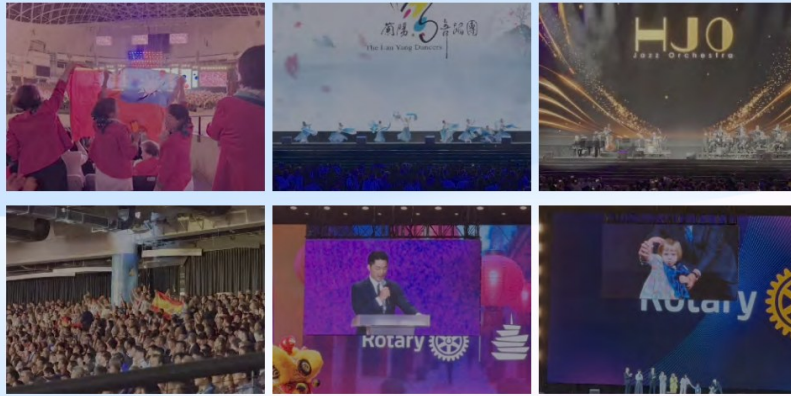


国旗入場の様子です。

自国の入場のときにはそれぞれの国の人が歓声をあげていましたが、ウクライナは特別。会場全体からひととき大きく応援の拍手が沸き起こっていました。

ちなみに、ロシアからの参加もあります。ロシア入場のときにもちゃんと拍手がありました。あのロシアとはいえ、さすが価値観を共有するロータリアン同士だなと関心しました。

開会式（開会本会議）：平和の苗を植え、希望を育む（2回目）（6/14）



開会式では、踊りや JAZZ の演奏といったアトラクションもありました。

開会式の挨拶は、午前は台湾総統、午後の部は台北市長でした。

昨年度 RI 会長もご家族連れで登壇されていました。

昼食会
6/15~17

6/15 President's Recognition Luncheon

6/16 Rotary Foundation's Impact Luncheon

6/17 President-elect's Leadership Luncheon

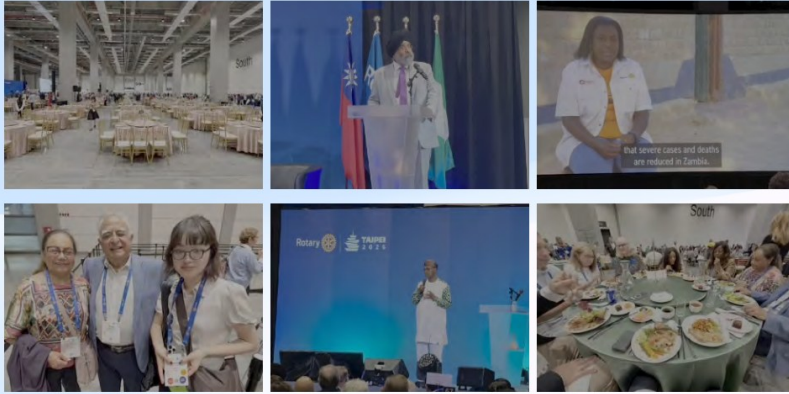


15 日から毎日昼食会がありました。15 日は RI 会長、16 日がロータリー財団、17 日が会長エレクト主催の昼食会。

Luncheon なんて言葉、ランチョンマットくらいでしか使わなかったですが、Lunch が普段の昼食、Luncheon はフォーマルな昼食ということで使い分けているそうです。勉強になりました。

テーブルごとにテーブルホストがいて、15 日にたまたま座った席は今年度 RI 理事の Tom Gump さんでした。Facebook でつながったのですが、すでに諏訪さんのお父さんがつながられていてさすがの交友関係の広さだと関心しました。

昼食会 (6/15~17)



今回娘を連れて行ったのは、ひとりで寂しいからというのがありますが、そのコミュ力の高さ。

老若男女人種信条関係なく誰とでもすぐに仲良くなるのは天性のものだと思います。

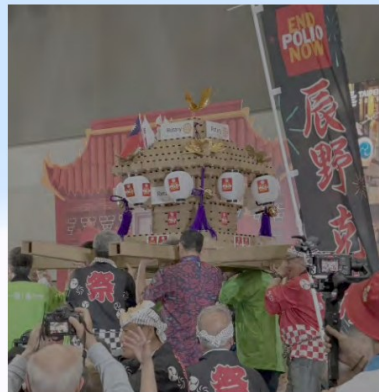
昼食会でも、ほっといても勝手にいろんなひととコミュニケーションをとっていました。

ロータリーとは関係なく育ってきましたが、「Future Rotarian」として交流していました。

昼食会の入口の列で左下の写真の男性から娘に「I Love your name」と突然話しかけられました。娘の名前は HARUNA で、この男性の名前は ARUN さん。娘の名前の中に自分の名前が入っているのを名札を見て気づいて声をかけてこられました。ケニアから来られたこのご夫妻のおかげでアフリカがすっかり身近な存在になりました。

右下の写真の右の方に写ってる女性はケニアの隣のウガンダの方。今度アフリカツアーをしてみようと思います。

MATSURI (6/15)



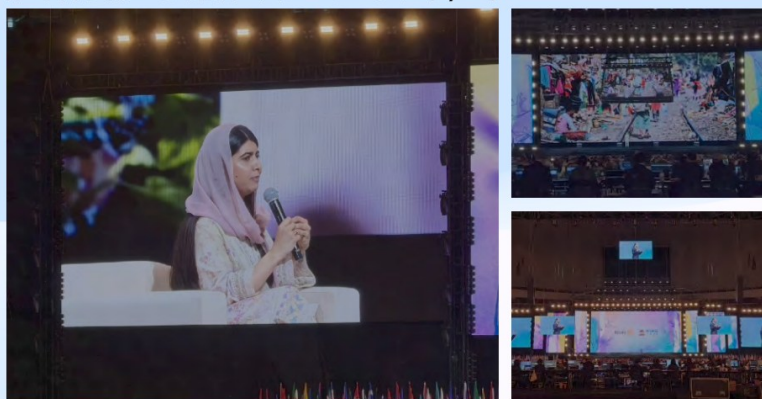
昼食会のあと、House of Friendship のステージで日本主催のお神輿が登場しました。

わたしも担ぎに行きましたが、段ボール製なのであまり動かすなどの注意がありました。

世界各国のかたも入り混じっての神輿で開場が盛り上がっていました。

「ワッショイ」ってなんだろう？と海外の人たちは思ったことでしょう。私も説明できません。

第2回本会議：地域社会と人びとをつなぐ (6/16)



16日に台北ドームで行われた本会議では、冒頭で世界中で行われている活動紹介がありました。

ポリオ撲滅はよく聞きますが、マラリアも海外では課題となっているそうです。そのために水質改善や公衆衛生のプログラムをザンビアなどで行っているそうです。日本でもかつてマラリアが流行ったことがあるそうです。温暖化が進む中、他人事ではないかもしれません。

そして、今回の国際大会で最大の目玉、マララユスフザイさんの講演です。

マララさんは、2014年、17歳の時にノーベル平和賞を受賞されたことで皆さんご存知だと思います。

マララさんは父の影響で11歳から女性が教育を受ける重要性を訴え続け、15歳の時にタリバンの銃撃に遭い、イギリスで治療を受けて一命を取り留めたそうです。（現在28歳）。

その後イギリスにとどまり、オックスフォード大学にも通われ、現在も活動を続けられています。

いちばん驚いたのが、マララさんのお父さんが熱心なロータリアンだったことです。ロータリークラブで学んだお父さんの教えがマララさんに引き継がれ、世界を変えた事実、ロータリーの存在意義を改めて感じました。

閉会式 (6/17)



閉会式も台北ドームで盛大に執り行われました。

この頃には日本人の姿はほとんど見なくなりました。

閉会式

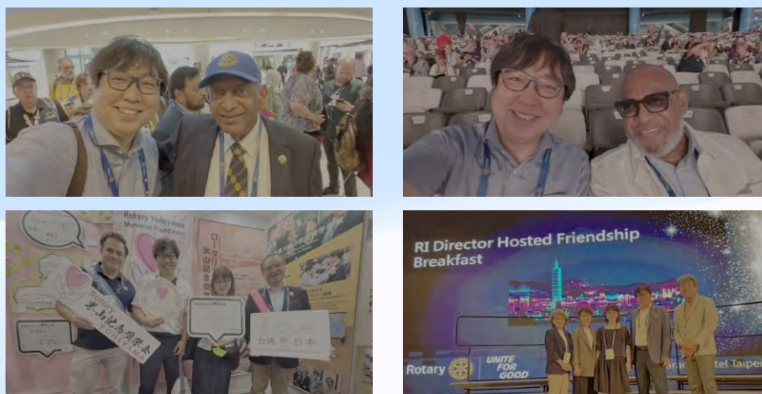


今年度の RI 会長オラインカさんはナイジェリアの方。エネルギー関係の仕事をしているそうです。

閉会式後に外に出ると、ナイジェリアの方々が集まって存在感をアピールしていました。

開催期間中、時間と体力の許す限り、できるだけたくさんのプログラムに参加し、できるだけたくさんの人と交流しました。ここでの学びや新たな繋がりが、世界に大きなインパクトを与えていく。心からそう思える大会でした。

出合いの場

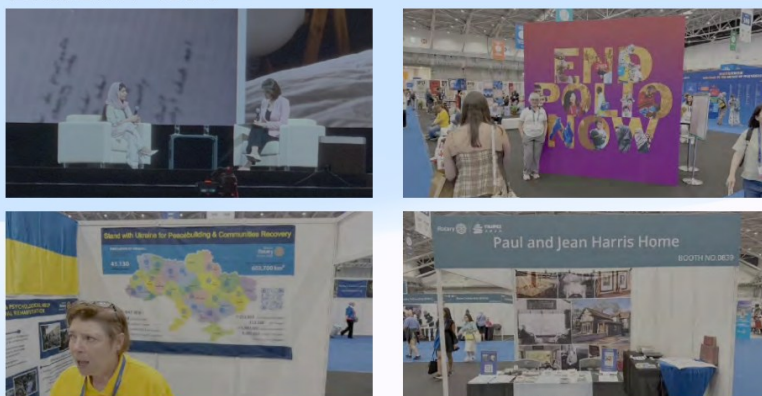


たくさんの方と出会いました。

左上はスリランカの方、右上はコートジボワールの方。

当クラブにも来られた嶋村さんもいらっしゃいました。

社会課題解決の見本市



世界中のロータリアンたちが、大小様々な社会解決に取り組んでいることを知りました。

ロータリー財団では、活動を支援するための補助金など支援を行っています。

ロータリーには、入っているだけではなく、こうした活動をしてこそ有意義なロータリーライフが送れると実感しました。国際大会は、まさに民間主導での社会課題解決の見本市でした。

ここで情報を得、つながり、自分たちの活動につなげていく。今年度からの広島新世代 RC の活動に向けて励みになる大会でした。

社会課題解決の見本市 | 分科会タイトルリスト (6/15のみ)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 年次基金：基本と発展・ Create Successful Rotary Experiences・ 平和構築と非暴力の推進に取り組む世界の革新者たち・ Measuring Ourselves: Pre-partnering Assessment・ Pass It Forward: Mentoring Young Leaders・ Rotary's Future: Expand Reach, Build Legacy・ Using Technology as a Tool to Enhance Learning・ Future-Proofing Rotary Through Interact・ Join the Experts: A Polio-Free World Is Possible・ DEI 2.0: Enhancing Participant Engagement・ Engaging Young Professionals in Rotary Clubs・ プラスチック汚染の解決に向けて共に取り組む・ Embrace Rotary's Values in Today's World・ Forgotten Service — Vocational Service・ 会員と来山学友が支える永続的なつながり・ パートナーシップにおけるコミュニケーションの進め方・ Peace Youth Summit in Taipei・ Rotaract Unleashed: The Power of Young Leaders | <ul style="list-style-type: none">・ The Club Experience Workshop・ ロータリーの奉仕でAIを生かす：AIでロータリーの使命を推進する・ 燃え尽きの先へ：クラブにおける帰属意識の再構築・ RYLAツールキットの作成：持続可能な枠組み・ Unite for Good: Convert Conflict to Collaboration・ Telling Rotary's Story Locally for Impact・ A Rotary Legacy Within Your Means・ Rotary Rising: Engaging the Next Generation・ Superheroes Need Rest Too: Resilience Tools for Members・ The Tapang Story: Coffee, Culture, and Community Renewal・ Rotaract Africa 2030: Same Goal, 30,000 Voices・ アニメを通じた環境教育：こみゼロの取り組みを促進する・ 地元でのCAFWパートナーシップを通じて参加者の基盤を広げる・ Managing Hard Conversations・ Shine Bright, Grow Big: Boost Membership Through Public Image・ 行動計画ラボ：クラブの未来をデザインする・ Rotary Community Corps: Powering Up Your Club's Impact・ Removing Barriers to Youth Integration in Rotary |
|---|---|

今回は体力と時間がなくて参加できませんでしたが、様々な分科会も開催されていました。

6月15日の1日だけでこの量です。録画などしてくれていれば後で見たいのにも思います。



そして来年はバルセロナで6月26日から30日までの日程で開催されます。

台北国際大会ですっかりロータリーにハマった娘は、わたしがまだ決めかねていたにも関わらず、会う人みんなに来年バルセロナで会いましょうと言って回って外堀を埋めてきました。

仕方ないのですぐにフライトとホテルを予約しました。

行く価値のある大会であることは保証します。そこそこお金もかかりますが、それ以上の価値があります。来年、ぜひ一緒にバルセロナに行きましょう。

— 以 上 —